

No.137  
2020/12/3



# OPEN オープンユニオン 岐阜大学職員組合ニュース UNION



岐阜大学職員組合発行

〒501-1193 岐阜市柳戸 1 番 1  
Tel. 内線 9552 Fax 058-230-1118  
E-mail: kumiai@gifu-u.ac.jp  
HomePage: 岐阜大学職員組合 (検索)

## 第 3 7 回定期大会を開催しました

第 3 7 回定期大会が 9 月 3 0 日 (水) に開催されました。今大会は新型コロナ対策もあり、初めてオンライン (Zoom) での実施となりました。技術的なミスもあり、開始時間が少し遅れましたが、すべての支部から例年以上の代議員が参加しました。教育学部支部と地域科学部支部の代議員を議長団として選出後、第 3 6 期活動報告・決算報告、第 3 7 期活動方針案・予算案のそれぞれの議案につき、審議を行いました。

第 3 6 期活動報告としては、東海国立大学機構への法人統合の問題に関して実施した団体交渉、新型コロナウイルス感染症及び勤勉手当の削減に関する要望書、大学病院での労働問題への申入れなどの各取組について報告があり、質疑応答を経て承認されました。決算報告については、当初予定していた催し等が実施されなかったことによる大幅な繰り越しとなったことに対する説明があった上で、会計検査とともに承認されました。

今期の活動方針としては、前期の団体交渉の際に確認した問題のある就業規則の見直し、法人統合による労働環境の悪化、不利益変更の改善など名古屋大学職員組合と連携して共闘していくことが示され、質疑応答を経て承認されました。また、工学部支部より中央役員選出に係る支部内部の状況が報告され、今期中に支部の解消又は他の支部との合併といった方向で話し合いをすることが認められました。予算案については、概ね前期の内容を踏襲した案となっていること、加えて、書記の退職に伴う積立金について説明がなされました。全大教・県国公などへの加盟費についての質問があり、今期以降の検討課題とすることを確認し、承認されました。

最後に、今期の中央執行委員長および中央役員の紹介がなされ、山本委員長より職員にとってより良い職場となるように取組んでいく旨の決意表明がなされました。

(例年は写真があるのですが…。Zoom の画面の撮影をしておけば良かったのですが。)

(第 3 6 期中央執行委員長 坂本 一也)

## 第37期中央役員あいさつ

### ◆ 中央執行委員長 山本公德（地域科学部）

第37期中央執行委員会の委員長を務めることになりました山本公德（やまもところとく）と申します。中央四役は、第30期で副委員長を務めて以来、二度目となります。

思い返してみると、第30期の頃は大学執行部との関係があまり良いとは言えず、大学側は団体交渉に極めて消極的で、組合からの要望書に回答しないこともしばしばありました。その頃に比べますと、少なくとも職員組合の存在を前提にした大学運営がなされるようになってきました。この間の、組合執行部を中心とする尽力の成果だと思えます。

このような大学執行部との交渉ルートを維持できていることは、他大学の状況と比較しても、非常に貴重なことであると感じています。まずはこの交渉ルートを維持・拡張し、次期の組合活動につなげていくこと、これを私たちの最重要の課題の一つと位置付けたいと思っています。

しかしながらその一方で、交渉を通じ具体的な成果を上げるという点については、厳しい状況が続いていることも確かです。この点で重要なのは、何といたっても「数の力」であり、組合員のみなさんに積極的に組合活動にコミットしてもらうこと、さらには組合の組織率を上げていくことが不可欠となってきます。現在、岐阜大学では、名大との法人統合や、新型コロナウイルス感染症対策に伴って、さまざまなレベルで労働条件の（不利益を含む）変更が問題になりつつあります。今期は、これらの問題を中心として、何らかの具体的な成果を上げていきたいところです。

私たちも情報提供に努めていくつもりですので、組合員のみなさんにも、要望・意見などどしどしお寄せいただき、活動に積極的に参加していただきたいと思っています。

一年間、どうぞよろしく願いいたします。

### ◆ 中央書記長 宇佐美 広介（工学部）

書記長をおおせつかった工学部の宇佐美広介というものです。

書記長とは実務の最高責任者と思われ、私の最も苦手とする分野です。しかし、こういう機会でも無いとやらんだらうな～ という気もするので、少しでも組合に貢献できればと思い御引き受けいたしました。力不足ではないかとも思いましたが、幸い他の役員は元気な方々なので安心しております。

東海国立大学機構の発足やらコロナ禍やらで職員の労働環境の急変・悪化が懸念されます。この1年間、そういうことにも注視しながら、出来るだけ前向きに職員の待遇改善等に尽力していきたいと思えます。

## ◆ 中央書記次長 住浜 水季(教育学部)

四役を初めて務めさせていただきます。私に何ができるのだろうかと不安に思いながら、初めての会議に出席するため、組合室に行きました。そこで、組合室のネットワークが繋がらないと相談を受け、ホームページやブログの更新もついでに任されました。私にできることがあります少しホッとしました。私が所属する日本物理学学会でも日本学術会議の任命拒否の問題について動きがあり、対応の内容がメールで流れていました。学問・教育をないがしろにする国にならないといいがと、心配になります。

## ◆ 中央執行委員 宇山 翠(地域科学部)

地域科学部支部中執委員の宇山翠と申します。専門分野は経済学（地域産業論、中小企業論）で、国内の産業集積地域における企業間の取引関係やネットワークについて研究しています。コロナ禍で組合員同士の意見交換や交流がしにくい状況が続いていますが、工夫しながら少しでも前向きな活動が展開できたらと考えております。組合員の皆様、一年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## ◆ 中央執行委員 福岡 大輔(教育学部)

中央執行委員に選出されました教育学部支部の福岡です。このコロナ禍や名古屋大学との法人統合など、目まぐるしく変化する環境の中で、中央執行委員として着任し、その責任を感じています。中央執行委員として、また、一組合員として職場環境をよりよくし、働きやすく安心できる岐阜大学となるように、微力ながら取り組んで参りたいと思っています。新型コロナの影響で、組合員相互の交流やレク活動など、組合員の交流が制限されている昨今ですが、思いを同じくするみなさんと共に、がんばってゆきたいと思えます。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

※なお中央執行副委員長・執行委員2名につきましては

次号でご紹介いたしますのでお楽しみに！！



## 岐阜県労働者球技大会「ボウリング地区大会」に参加しました

2020年10月16日(金)に岐阜県労働者球技大会「ボウリング地区大会」が開催され、応用生物科学部支部の4名が岐阜大学代表として参加してきました。本チームはこの大会に毎年参加しており、過去3年連続で上位3位までに与えられる県大会への出場権を獲得しています。

今年度も県大会への出場を目指したのですが、当日は全員本調子ではなく、今までにない苦戦を強いられました。ですが粘り強い投球を続け、悪いながらも何とか3位となることができました。

しかし、今年度はコロナ禍の影響で県大会への出場チーム枠が減らされ、2位までしか出場権が与えられませんでした。ですので、入賞は果たしたのですが我々の挑戦はここまでとなってしまいました。来年こそは今回のリベンジを果たし、県大会への出場および上位入賞を目指して今後も精進していきます。



応用生物科学部支部 酒向隆司

## 若手忘年会・新春の集いについて

例年行われておりました「若手忘年会」は 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、誠に残念ではございますが、今年は中止とさせていただきます。

なお、「新春のつどい」につきましては、1月下旬から2月上旬での開催を目指して、現在調整中です。詳細が決まり次第、お知らせいたします。

## 組合書記より

この度、前任の柴田さんから引き継ぎ、新たに書記としてお世話になります磯貝と申します。不慣れな点多々あるかと思いますが、どうぞよろしくお願いたします。

岐阜大学の紅葉がこれほどきれいだとは知りませんでした(いちょうの木は足元注意ですね)。思わず写真を撮りました。これからの季節も楽しみです。

